



平成 22 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 山 村 研 一
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 福 永 健 司
(電話番号 03-5524-6152)

「GANP®マウス技術」に関する特許が日本にて成立

株式会社トランスジェニック(代表取締役社長：山村研一、熊本県熊本市)の基幹技術「高親和性抗体作製技術—GANP®マウス技術(以下、本技術)」に関連する特許群のうち、GANP遺伝子に関する特許が日本において成立したことをお知らせいたします(特許番号 4426728)。

このたび日本で成立した特許は、熊本大学大学院 医学薬学研究部 教授 阪口薫雄らにより発見されたGANP遺伝子、GANP蛋白質を広くカバーする特許です。当社は、このGANP遺伝子を過剰に発現させたGANP®マウスを用いて高い特異性と親和性を持つ抗体の開発を行っています。なお、本技術に関する特許は、すでに中国で一部成立しているほか、欧州、オーストラリアで成立しています。

当社は、GANP®マウス技術を用いて得られた成果を研究用試薬として販売するほか、バイオマーカー(癌マーカーなど)として診断薬開発や、抗体医薬を開発している製薬企業への本技術のライセンスビジネスを展開しています。

なお、本件の本年度連結業績への影響は軽微であり、業績予想には変更がありません。

◆ご参考 : GANP®マウス技術

GANP (Germinal Center Associated Nuclear Protein) とは、熊本大学 阪口薫雄教授らにより発見された遺伝子で、抗体を産生するB細胞で発現しています。

GANP®マウス技術とは、このGANP遺伝子を過剰に発現させたGANP®マウスを用いて抗体を作製する技術です。GANP®マウスで得られる抗体は、親和性や特異性の高いことが特徴で、診断薬や抗体医薬の開発への展開が可能です。

当社は、本技術による抗体の自社製品開発、および本技術のライセンス供与を行い、抗体事業収益の柱としております。

以上